

大阪歯科大学 兵庫県同窓会報

昭和54年10月15日
No. 33

発行所 大阪歯科大学兵庫県同窓会
神戸市生田区山本通5丁目41
電話(078)351-4181
編集発行人 前田光俊



就任挨拶

友愛と寛容の精神を

大阪歯科大学兵庫県同窓会

会長 鹿嶋 弘

去る5月11日、昭和53年度大阪歯科大学兵庫県同窓会総会で、前阿部会長のご推挙を得、また、出席された全会員のご支援を受けて、思いがけず5代目の兵庫県同窓会長として就任しました。兵庫県同窓会は、永年にわたって奥野会長を中心に、歴代会長のもとに營々と培われてきました。その同窓会の在り方良さというものは、近畿をはじめ全国各府県同窓会からも注目を浴びており、これを継承してさらに磨かねばならないと思います。

同窓会の在り方の中心は親睦であり友愛の精神であります。そのためには、寛容の精神もなければなりません。寛容とは、心が寛大でよく人を受け容れること、また、人の過失をとがめだてせず、人を許すさまと辞書にあります。互いに足を引っ張り合うことのないよう、まず、己れにきびしくあってほしいと思います。それが、すなわち親睦につながり、友愛の精神ともなるからです。

兵庫県同窓会名誉会長である奥野同窓会長は、同窓会は親睦を計るだけではいけない。先輩、後輩の立場を明確にして互いに切磋琢磨しながら、風雪に耐えることが発展につながるものであり、その精神こそ同窓会の在り方だと言われました。

常に培われてきました、兵庫県同窓会の在り方は会員の中に一つの流れを持つものだと確信していますし、その流れこそが同窓会精神そのものであらうと思います。

わたしにとって第1回目の会員大会に、若い方々が本当に多く参加されましたが、これを契機として、若い方々の力を中心に兵庫県同窓会発展のため、こんご微力を尽してやって行きたいと考えています。さらに、兵庫県同窓会の発展が同窓会本部を助ける一翼ともなるわけで、そうしたことも含めてご支援ならびにご鞭撻をお願い申し上げ、大歯大兵庫県同窓会会長就任のご挨拶といたします。

目次

就任挨拶	鹿嶋 弘	1
昭和53年度総会		2
阿部前会長を顧問に推薦		3
第6回会員大会		4
昭和53年度事業報告		5
新入会員		6
新卒業生		7
学位受領者		7
大阪歯科大学兵庫県同窓会役員		8
昭和54年度歳入歳出予算書		9
昭和54年度歳入歳出決算書		10

昭和53年度総会

新会長に鹿嶋 弘氏決る

監事は平崎、和田の両氏

大阪歯科大学兵庫県同窓会では、5月11日(金)午後3時から兵歯会館5階講堂で、昭和53年度総会を開催し、昭和53年度決算、昭和54年度予算のほか、次期同窓会会長ならびに監事の選出を行った。

総会は、鹿嶋専務の司会により、竹谷副会長の開会のことばではじまった。ついで、議長に小北副会長を選出(司会者一任によって)して、議長より議事録署名人が(中沢利介、榎本時寛)指名されたあと、阿部会長より次のような挨拶があった。

「ウイクターにかかわらず多数の出席を得たことを感謝する。総会は3月中に開催すべきところ、都合で今日開催となった。当初は、4月25日を予定していたが、交通ゼネストのため開催を延ばした。

本日は、決算、予算のほかに会長ならびに監事の選出がある。

この2年開、無事に過ぎたことをお礼申し上げるとともに、次期会長の件は、もし、わたしが指名されるようなことがあっても、辞退させていただくつもりである。終戦当時の会長を加えて相当の年数になる。幸い、兵庫県には人材が多いし、同窓会発展を願って、よろしくご協力いただきたい……」

このあと、学位受領者表彰があり、各報告に続いて議事に入った。

報告事項

- ① 会務報告 鹿嶋専務理事
- ② 会計報告 溝井常任理事
- ③ 本部報告 志築常任理事
- ④ 渉外報告 渡部常任理事

(会務報告の中で、物故会員14名に対し、敬弔黙禱があった)

議 事

- 第1号議案 昭和53年度歳入歳出の決算の承認を求める件
- 第2号議案 昭和54年度歳入歳出予算に関する件
- 第3号議案 会費賦課、徴収方法に関する件
- 第4号議案 会長選出の件
- 第5号議案 監事選出の件

議事は、以上5議案が上程された。

まず、第1号議案の提案説明のあと、監査報告津田監事より、第1号議案を全員挙手で可決した。ついで、第2、第3号議案を一括上程し、全員挙手で可決して、第5号議案の会長選出に入った。

次期会長選出に当っては、冒頭に阿部会長が挨拶の中で強い意志表明をしたので、これを受けて「現会長に一任しては……」との発言があった。また、阿部会長より「是非、辞めたいと、昨年から決心していた。会員の意見を十分に聴取した結果、意中の人を腹案として持っている。できれば、一任を得てと思っていたが幸い一任ということなので、次期会長に鹿嶋 弘君を推せんしたい……」と、賛同を求める意志表明があり、全員が拍手して阿部会長の推せんに同意を表した。

ここで、議案審議の手續きの上で、まず会長に一任してよいか諮られ、全員賛成によって会長一任を決定し、次期会長に鹿嶋 弘氏を決定した。

次期会長に決定した鹿嶋 弘新会長より「大歯兵庫県同窓会の歴史の流れの中で、今日の発展を胆に銘じたい……」と挨拶があり、ついで阿部会長より「わたしの意を尊重していただき感謝する。大過なく過ぎたことを重ねてお礼申し上げるとともに、わたし同様に鹿嶋新会長をよろしく願いたい……」との謝意表明があった。

このあと、井上貴之介氏より阿部会長に対し感謝決議の動議提出があり、全員挙手で動議を採択、議決した。

監事選出は、選考委員による選出方法が採択され、5名の選考委員が議長一任によって指名され、慎重審議の結果、新監事を次のとおり決定した。

新監事

平崎 博文(明石) 和田 茂之(西宮)
(選考委員) 佐藤 莞爾、島津 徹、酒井 仁一
藍 亮一郎、安留 力

つづいて協議にうつり、

- ① 本年度会員大会に関する件
- ② 会員名簿作製について
- ③ その他

が協議され、永津副会長の閉会のことばで終了した。

阿部前会長を顧問に推薦

大歯兵庫県同窓会臨時総会

鹿嶋新会長になって初の臨時総会が6月27日(木)午後2時から兵歯会館5階講堂で開催され、会則一部改正に関する件など3議案を可決決定したのち同窓会の運営などについて協議した。

会は志築常任理事の司会により津島副会長が開会のことばを述べてはじまり、松本副会長を議長に選出したのち、議事録署名人に西島郁二(西宮)、重岡 巖(尼崎)両氏を指名した。

つづいて鹿嶋会長より「先刻の理事会にひきつづき総会を開催したところ多数ご出席をいただき感謝している。私が兵庫県の5代目の同窓会長になるようであり、私の隣に奥野名誉会長がおられますが、孫のような気持で、奥野会長が永年培われた兵庫県独自の同窓会のあり方、良さというものをひきついでやっていきたいと思っております。総勢140名の役員への委嘱も無事終了いたしました。近畿のなかで大歯同窓会がこれほどまとまっているのは兵庫県だけだと言われております。これからも一致団結して同窓会本部を助ける一翼として頑張っていきたい。」

奥野会長は私が船出するのを心配され、また一面激励するということがあって出席されていると思いますが、その温情を感じ、これからも会務に精励して行きたいと思っております。”との挨拶があった。

つづいて来賓として出席されていた奥野大歯同窓会長より要旨以下の挨拶があった。「鹿嶋先生が会長になられた。非常にフレッシュな会長である。進歩するということはこういうことでありましょう。」

卒業して10年間は教育の時代であります。若い人を教育せねばなりません。後の10年間は経験を積みます時代であります。ある程度無理をして経験を積ませなければなりません。このような次第で45.6才になって同窓会はいかなるものかを経験するわけであり、これから先は自分の考えて来たことを実施に移す時期であります。そのような意味で同窓会を扱っていただきたい。教育と経験の時代を過ごした後は、創始の時代であり、自分自身で工夫をこらして会をよくしていかなければならない。

この点を理解して同窓会をよくするように努めてほしい。同窓会は親睦を計るだけではない。なにかリサーチ的な進歩したものを果たさねばならない。皆が足をならべて進歩して行くのが同窓会ではなからうか。

報告では宮井専務より、会員数は5月末日現在で1210名、5月10日以降の物故会員は4名である。前総会で決議された阿部前会長への感謝状、記念品の贈呈は7月14日の会員大会で盛大に行いたい。諮問委員についてはいままでご功績のあられた方をお願いした。

以下の各氏である。(敬称略)

津田 象 治	専14	(生田区)
井上 貴之介	専15	(播磨)
小北 博文	専16	(播磨)
大浦 波 夫	専18	(兵庫区)
竹谷 三省	専18	(津名郡)
永津 良 三	専19	(生田区)
磯島 吉之祐	専20	(箕合区)

つづいて議事にうつり以下の3議案を可決決定した。

議 事

第1号議案 会則の一部改正に関する件

第4章 役 員

新	旧
第5条 この会に次の役員を置く	第5条 この会に次の役員を置く
1. 会長 1名	1. 会長 1名
2. 副会長 5名	2. 副会長 4名
3. 理事 若干名 (内専務理事 1名 常任理事 若干名)	3. 理事 若干名 (内専務理事 1名 常任理事若干名)
第9条 名誉会長、顧問は会長が総会の承認を得て推薦する。	第9条 名誉会長は会長が総会の承認を得て推薦する。

第2号議案 名誉会長推薦の件

前阿部会長時代と同じく奥野大歯同窓会会長を名誉会長に推薦する。

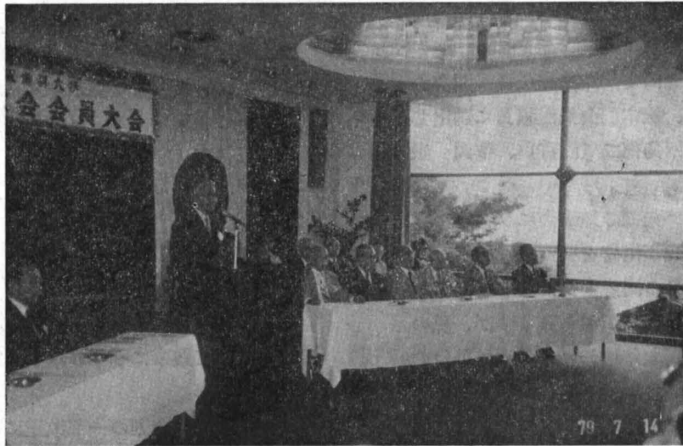
第3号議案 顧問推薦の件

阿部前会長のご功績が大きかったので顧問に推薦する。

つづいて協議事項にうつり志築常任委員より、7月14日、15日箕面観光ホテルで行なわれる会員大会に参加の要望があったのち同窓会についての協議になり、会員大会は宿泊をやめ、参加会員を多くするようにしてほしい。支部の意見を良く反映して組織づくりをしっかりとやってほしいなどの意見が出されたのち塩見副会長の閉会のことばで終了した。

第6回会員大会

箕面観光ホテルで400名の集い



兵庫県同窓会では、7月14日（土）午後4時30分から、大阪箕面市の箕面観光ホテル2階会議室で、新卒、新入会員歓迎を兼ね、鹿嶋新会長としては初めての第6回会員大会を尼崎分会の当番により盛大に開催した。

当日は、白数大歯大学長、奥野半蔵同窓会長はじめ阿部勉、西山幸男、奥野喜一、織田正豊の各同窓会副会長、近府県から筆本新一大阪府歯会長、川崎武彦和歯会長、森本太郎岡山県同窓会支部長、久保昌弘和歌山県同窓会支部会長、吉田原康奈良県同窓会支部会長らのほか、各大学兵庫県同窓校友会長ら来賓を加え、約400人が出席して、親睦の輪を広げた。

大会は、宮井兵庫県同窓会専務の司会により進められ、まず、津島兵庫県同窓会副会長より「多数ご出席を得て盛大に開催される運びとなった。これは、当番の尼崎分会のご苦労のおかげとお礼申し上げたい。本大会は阿部会長が勇退され、新しく鹿嶋会長となって初めての意義ある大会である。ご協力を得て和気あいあいの中で一ときを過したい…」との開会のことばがあり、ついで、鹿嶋兵庫県同窓会長より次のようなあいさつがあった。

「5月11日に前阿部会長のあとをうけ、わたしが兵庫県同窓会長になったわけであるが、本日は、奥野同窓会長はじめ白数会長はじめ来賓の方々、それに家族を交えて400人近くの参加を得て、わたしの第1回目の会員大会である。今日ご出席の方々を含めて、兵庫県が奥野会長を中心に、また、阿部会長を中心にして、永年にわたって引き継いできた同窓会のあり方は、会員の中に一つの流れを持つものと確信している。

わたしは、親睦の中で友愛ともう一つは寛容の精神であろうと思っている。寛容は己れにきびしく、人には寛大であってほしい。その中で、常に培われた同窓会精神というものがあるってほしいと考えている。

本日は、若い会員の方々多数のお集りをいただいている。このような若い方々の力で、兵庫県同窓会をやって行きたい……」

このあと、来賓紹介、新入新卒会員の紹介があり、つづいて、来賓祝辞にうつり奥野同窓会長はつぎのように述べた。

「今日は400人の方々が参加した。鹿嶋会長も喜んでいと思う。同窓会はコミュニケーションである。運命共同体として、皆が手

を握り合って行くことに意義があり、わたしは、ゲマインシャフテイッシェゲゼルンシャフトすなわち利益追求も含めた運命共同体が同窓会だと思っている。

さきほど、日本歯科技工士会が技工大学の設置促進を求め、資格試験、免許制度改善の請願をしている。このような動きに対しては、われわれも充分に問題を把握し、主客転倒するようならば、断じて許されるべきものでないとの強い姿勢が必要だ……」

また、白数大歯大学長より「わたしは、都合で5年ほど欠席をした。いま、奥野同窓会長の言われたことが、もし、本当たとすれば恐しい時代が来ることを心配したい。

今日、6回目の大会に、わたしの産んだ赤ん坊をおあづけする。学校は子を産みっ放したが、人間は同窓会が教えてくれる。皆さんの大きな翼の下に赤ん坊を暖く抱いていただきたい。

赤ん坊に一言、それは「相い成らんことは、相い成らん」ということを願っておく。どうか立派な歯科医として育成していただきたい……」

との祝辞があった。

ついで、阿部前会長に鹿嶋会長より感謝状と記念品（時計）が贈呈され、阿部前会長よ

り「感謝状をいただきお礼申し上げる。本日の盛會を見て、わがことのように嬉しい。鹿嶋君は20ほど若い。新卒の諸君の健闘を願うと共に、同窓会の飛躍発展を期待したい……」との謝辞があり、祝電披露のあと、当番分会長（志葉照和尼崎分会長）より「準備の苦勞よりも人間関係と組織団結に意義があったと思う……」とのあいさつがあった。ついで、次期当番分会長（岡田一三神戸分会長）が「会員大会の主旨をいかし、地元で開催をするつもりだ。期日は7～8月頃になるかと思うがよろしく願いたい……」とあいさつがあり、学歌斉唱ののち松本副会長のことばで閉会した。

会員大会のあと、場所を5階大宴会場に移し、午後6時から懇親会が開かれた。

懇親会は、岡田尼崎分会専務の司会によって進められ、まず、西原尼崎分会副会長の開宴のことばではじまり、多和城西歯大学長の乾杯によって盛大な宴の幕が開いた。

宴たけなわとなる頃には、来賓の前に多数の会員が繰り出し、また、会員間の往来がはげしくなり、互いに親睦の輪を広げながら松田尼崎分会副会長の閉宴のことばで、ひとまず懇親会を終了し、夏の夜の一刻を和気あいないの中で過した。

昭和53年度事業報告

大歯大同窓会学術講演会

昭和54年2月11日（土）、午後1時～4時30分

場 所 兵庫県歯科医師会館5階講堂

講 師 保母須弥也氏

テーマ 今日の補綴、明日の補綴

第5回会員大会

昭和53年7月15日（土）、16日（日）

場 所 有馬兵衛「向陽閣」

参加人員

会員、家族 315名

来 賓 22名

新 卒 23名

新入会員 8名

事務局 5名

合 計 373名

新 入 会 員

(昭和52年8月1日～昭和54年5月31日)

氏 名	番 号	住 所	卒業年度
天 羽 恒 美	656-05	三原郡南淡町福良甲1330	49
寺 井 修	797	尼崎市東向島西之町1 住友金属	18
沖 田 和 久	662	西宮市和上町55 オリーブハイツ	51
三 木 明	670	姫路市本町5	50
幡 中 大 吉	670	姫路市城東町京口台87	47
井 上 敏 博	651-13	神戸市北区有野町唐櫃1354-16	53
伊 藤 顕	663	西宮市甲子園2番丁1-12	51
親 里 嘉 之	663	西宮市鳴尾町5-4-36	47
伊 藤 雅 夫	662	西宮市甲東園1-73	43
藤 多 文 雄	662	西宮市甲陽園本庄町9-20-101	48
浅 原 昌 三	673-01	加古郡播磨町大中632-3	53
河 原 忍	669-61	城崎郡城崎町桃島1292-6	52
大 西 陽 一 郎	675	加古川市加古川町寺家町413	53
長 岡 博 子	657	神戸市灘区篠原本町1-7-19	53
味 村 肇	673	明石市鳥羽字宮西607-4	47
荒 垣 雅 人	666	川西市平野字太田553	47
井 本 吉 昭	663	西宮市二見町61-6	52
早 瀬 大 児	655	神戸市垂水区富士見が丘1-7-2	49
杉 本 啓 一	675-01	加古川市平岡町山之上字濱目684-30	50
永 末 真 嗣	666	尼崎市杭瀬本町1-41	50
溝 井 啓 泰	654	神戸市須磨区高倉台町5-2-1	53
藤 田 大 志	654	神戸市須磨区緑ヶ丘1-1-40	50
親 里 隆 夫	662	西宮市産所町11-26	51
岡 本 浩 一	662	西宮市甲東園1-11-2 人見歯科	50
糸 永 茂 雄	650	神戸市生田区東町123-1 貿易ビル	50
神 田 能 夫	666	川西市清和台東3-2-2	11
住 谷 幸 雄	657	神戸市灘区水道筋2-3	44
天 羽 澄 夫	663	西宮市津門稲荷町11-2	51
小 寺 康 補	650	神戸市生田区元町通4-61	52
土 橋 隆 史	669-11	西宮市塩瀬町生瀬字下井茂924-4	49
矢 野 一 郎	660	尼崎市東園田町5-88-6	51
澤 田 隆	662	西宮市寿町5-17	44
本 多 忠 敬	651	神戸市葺合区館内橋通6-1-26	41
下 村 和 廣	653	神戸市長田区本庄町3-6	52
石 上 雅 章	653	神戸市長田区菅原通4-1-20 菅原ビル	53
宮 脇 英 子	657	神戸市灘区神ノ木町3-6-23 植田ビル	49
四方 田 照 子	663	西宮市里中町2-9-23	45
中 西 洋 介	662	西宮市甲風園1-3-12 カミヤビル	45
山 崎 宏	650	神戸市生田区北長狭3-12-1 鯉川ビル	40
中 塚 裕 幸	650	神戸市生田区京町76-1 黒田歯科	53
高 山 泰 幸	675	加古川市粟津宮下450-10	51
白 山 英 二	673-05	三木市緑が丘町東2-2-7	51

矢頭龍一	655	神戸市垂水区舞子台3-13-2	52
元津敏子	651-13	津名郡一宮町郡家字居屋敷189-3	51
北川純一	662	西宮市寿町1-1	44
藤原朝子	656	洲本市山手3-1-13	39
上住和也	659	芦屋市宮塚町61	51
廣田良逸	679-03	多可郡黒田庄町大門9	51
頭司康二	666	川西市萩原台西1-61	51
松野吉晃	655	神戸市垂水区瑞ヶ丘5-3	52
阪本義之	652	神戸市兵庫区中之島2-1-2	46
清水敏郎	654	神戸市須磨区高倉台6-19-1	46
北上英司	657	神戸市灘区中原通6-6-16	48
北上安子	657	神戸市灘区中原通6-6-16	34
山田早苗	659	芦屋市西芦屋町7-3	28

新 卒 業 生

氏 名	住 所	電話番号
赤澤登	657 神戸市灘区曾和町2-5-10	(078)841-3850
磯田晴久	653 神戸市長田区長田町2-3-10	(078)691-2719
浦上佳子	670 姫路市花影町1-4	(0792)92-5172
大谷敬三	662 西宮市広田町9-37	(0798)72-7408
尾形公應	663 西宮市甲子園4番町1-14	(0798)45-0158
梶山陽一	652 神戸市兵庫区下祇園町24	(078)361-0551
片山和彦	672 姫路市飾磨区恵美酒823-3	(0792)35-8855
木戸南有宏	651-11 神戸市北区鈴蘭台東町2-4-24	(078)591-0252
木佐伯克彦	663 西宮市甲子園口4-18-3	(0798)67-8400
坂田滋	662 西宮市中殿町5-30	(0798)23-7127
長岡邦男	658 神戸市東灘区御影本町6-2-19	(078)851-2047
中野文隆	651-12 神戸市北区山田町上谷上字故山29-57	(078)581-5003
中村公隆	661 尼崎市東園田町5-109-9	(06)492-6461
中塚善文	659 芦屋市山手町142	(0797)22-2519
南木達夫	673 明石市松ヶ丘3-31-15	(078)918-0837
橋川直浩	653 神戸市長田区二葉町5-3-1	(078)611-1591
橋本芳紀	653 神戸市長田区宮丘町1-6-18	(078)621-6663
林昭栄	671-41 宍粟郡一宮町安積1310	(07907)2-1017
福田好浩	660 尼崎市神田中通3-30	(06)411-5361
福沢昌績	670 姫路市大善町92	(0792)22-4736
藤田雅之	660 尼崎市大物町2-45	(06)488-5998
水田雅之	658 神戸市東灘区御影本町4-10-6	(078)811-9903

学 位 受 領 者

氏 名	卒業回数	地区名	受 領 日
阪本義之	大 19	兵庫区	昭和53年3月10日
幸田洋一	大 19	須磨区	昭和53年12月11日
河合秀樹	大 22	須磨区	昭和54年3月17日
安藤豊	大 19	垂水区	昭和54年3月20日

以上 大阪歯科大学

大阪歯科大学兵庫県同窓会役員 (S54.4.1~S56.3.31)

名誉会長	奥野半	藏専6	尼崎市	今井	井原	章専28	川西市
顧問	阿部	勉専5	西宮市	西平	井原	宏専28	尼崎市
会長	鹿嶋	弘専25	灘区	保井	井原	博専30	西宮市
副会長	津島大	麓専20	兵庫区	保井	井原	至専30	姫路市
〃	松本見	清専24	尼崎市	鯉香	西村	昭専32	神崎郡
〃	塩井俊	三郎専24	姫路市	中香	西村	大2	生田区
〃	渡部	郎専25	生田区	増安	田留	司大3	兵庫区
〃	宮井	潔専32	宝塚市	安西	田留	孟大3	北区
専務理事		三朗専26	垂水区	西	留條	力大5	西宮市
(常任理事)				西	留條	晃大6	須磨区
庶務	志中	照和専28	尼崎市	外	笠原	義人専25	灘区
〃	志中	裕専32	長田区	〃	河山	道夫専24	北但
〃	志小	夫専32	神崎郡	〃	山村	至専25	芦屋市
〃	志大	志専32	伊丹市	〃	村川	一専26	生田区
〃	嘉海	造大1	生田区	〃	小川	司専28	兵庫区
〃	嘉海	吾大3	姫路市	〃	小坂	彦専30	西播
〃	岡瀬	雄大4	尼崎市	〃	小林	修専31	灘区
〃	岡瀬	二大6	生田区	〃	井野	勝専32	尼崎市
〃	石松	威夫大10	東灘区	〃	野方	一専32	宝塚市
〃	溝井	衛大11	宝塚市	〃	天	彦大4	伊丹市
會計	溝河	次専17	芦屋市	(理事)	奥原	久大11	葦合区
〃	河原	夫大8	須磨区	〃	中南	宏京大11	生田区
〃	西田	和美大2	生田区	〃	西海	夫之一大7	長田区
学術	西増	昭大1	西宮市	〃	清水	史夫大1	須磨区
〃	長矢	夫大6	播磨	〃	坂久	喜三夫大5	垂水区
〃	大佐	爾大6	生田区	〃	楠生	孝三専29	尼崎市
〃	橋住	伸夫大12	兵庫区	〃	永井	実昇専31	西宮市
〃	前田	俊大15	灘区	〃	南室	典大11	伊丹市
広報	中川	二専29	長田区	〃	上川	昌大9	伊丹市
〃	中川	雄大3	明石市	〃	谷野	義大3	川西市
〃	木橋	道大7	西宮市	〃	小美	晃専32	芦屋市
〃	橋本	次大8	芦屋市	〃	原蓮	治専32	明石市
〃	水中	次大10	垂水区	〃	池脇	明専26	加東郡
〃	中野	次大11	播磨	〃	山長	三明大4	西脇市
福祉	浜寺	幸豊専25	西宮市	〃	川木	雄大6	播磨
〃	松田	一専25	灘区	〃	三保	雄大3	揖斐
〃	伊藤	彰専29	尼崎市	〃	英岸	一専17	宍粟郡
〃	赤井	郎専29	長田区	〃	島津	徹専25	氷上郡
〃	田中	市専30	西播	監事	平和	文専19	洲本市
〃	飯柳	清専32	西宮市	〃	和	之専22	明石市
〃	四飯	浩大5	垂水区	諮問委員	津井	之専14	生田区
〃	河村	宏大5	生田区	〃	小北	介専15	播磨
組織	岡田	三専20	生田区	〃	井大	文専16	播磨
〃	稻垣	也専21	東灘区	〃	浦小	夫専18	兵庫区
〃	内海	正専24	生田区	〃	大竹	省専18	津名郡
〃	廣田	逸専25	西脇市	〃	永磯	三良専19	生田区
〃	田村	正専26	灘区	〃		之祐専20	葦合区
〃	瀧野	一専26	南但				

昭和54年度大阪歯科大学兵庫県同窓会歳入歳出予算書

歳入金 13,090,000円

歳出金 13,090,000円

収入の部

△印 減

科目	本年度予算	前年度予算	増減	摘要
第一款 会費	9,996,000	9,660,000	336,000	月700円×12ヶ月×1,190名
第1項 会費	9,996,000	9,660,000	336,000	
第二款 雑収入	1,122,000	1,106,000	16,000	
第1項 雑入	50,000	70,000	△ 20,000	預金利子
第2項 寄付金	1,000	1,000		
第3項 本部手数料	1,071,000	1,035,000	36,000	9,000円×1,190名×10%
第三款 繰越金	1,972,000	3,177,000	△1,205,000	
第1項 繰越金	1,972,000	3,177,000	△1,205,000	
合計	13,090,000	13,943,000	△ 853,000	

支出の部

科目	本年度予算	前年度予算	増減	摘要
第一款 事務費	4,400,000	4,100,000	300,000	
第1項 事務費	1,900,000	2,000,000	△ 100,000	
第2項 旅費	700,000	700,000		
第3項 通信印刷費	1,500,000	1,000,000	500,000	名簿印刷
第4項 消耗品費	150,000	200,000	△ 50,000	事務用品
第5項 雑費	150,000	200,000	△ 50,000	
第二款 会議費	1,500,000	2,000,000	△ 500,000	
第1項 会議費	1,500,000	2,000,000	△ 500,000	
第三款 事業費	6,690,000	6,940,000	△ 250,000	
第1項 学術費	640,000	640,000		
第2項 広報宣伝費	150,000	200,000	△ 50,000	会報発行
第3項 福祉厚生費	2,300,000	2,000,000	300,000	会員大会
第4項 表彰慶弔費	1,000,000	1,000,000		
第5項 諸見舞費	800,000	800,000		
第6項 渉外費	1,800,000	2,300,000	△ 500,000	
第四款 予備費	500,000	903,000	△ 403,000	
第1項 予備費	500,000	903,000	△ 403,000	
合計	13,090,000	13,943,000	△ 853,000	

自然増は予備費へ繰入れ

昭和53年度大阪歯科大学兵庫県同窓会歳入歳出決算書

歳入金 14,020,642円

歳出金 12,048,412円

差引剰余金 1,972,230円

収入の部

△印 減

科目	決算額	予算額	増額	摘要
第一款 会費	9,665,200	9,660,000	5,200	
第1項 会費	9,665,200	9,660,000	5,200	
第二款 雑収入	1,177,766	1,106,000	71,766	
第1項 雑入	31,316	70,000	△ 38,684	
第2項 寄付金	0	1,000	△ 1,000	
第3項 本部手数料	1,146,450	1,035,000	111,450	
第三款 繰越金	3,177,676	3,177,000	676	
第1項 繰越金	3,177,676	3,177,000	676	
合計	14,020,642	13,943,000	77,642	

支出の部

科目	決算額	予算額	増減	摘要
第一款 事務費	3,392,885	4,100,000	△ 707,115	
第1項 事務費	1,984,600	2,000,000	△ 15,400	
第2項 旅費	737,700	700,000	37,700	
第3項 通信印刷費	402,715	1,000,000	△ 597,285	
第4項 消耗品費	110,000	200,000	△ 90,000	
第5項 雑費	157,870	200,000	△ 42,130	
第二款 会議費	1,907,531	2,000,000	△ 92,469	
第1項 会議費	1,907,531	2,000,000	△ 92,469	
第三款 事業費	6,747,996	6,940,000	△ 192,004	
第1項 学術費	606,300	640,000	△ 33,700	
第2項 広報宣伝費	114,300	200,000	△ 85,700	
第3項 福祉厚生費	1,984,601	2,000,000	△ 15,399	
第4項 表彰慶弔費	921,000	1,000,000	△ 79,000	
第5項 諸見舞費	850,000	800,000	50,000	傷病見舞金 82万円 災害見舞金 3万円
第6項 渉外費	2,271,795	2,300,000	△ 28,205	
第四款 予備費	0	903,000	△ 903,000	
第1項 予備費	0	903,000	△ 903,000	
合計	12,048,412	13,943,000	△ 1,894,588	